



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社ダスキン

上場取引所 東

コード番号 4665 URL <http://www.duskin.co.jp/corp/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 輝治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鶴見 明久

TEL 06-6821-5071

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	83,310	1.5	4,351	△8.4	5,327	△7.3	3,059	3.1
25年3月期第2四半期	82,088	△3.9	4,751	12.1	5,746	7.8	2,967	3.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 4,013百万円 (51.5%) 25年3月期第2四半期 2,649百万円 (△8.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	48.72	—
25年3月期第2四半期	46.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	201,860		154,640			76.1
25年3月期	202,375		152,811			75.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 153,680百万円 25年3月期 151,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	40.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 20円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,000	2.9	6,300	△31.5	7,800	△29.3	4,400	△27.8	70.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご確認ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	64,994,823 株	25年3月期	64,994,823 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,414,752 株	25年3月期	1,913,819 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	62,794,774 株	25年3月期2Q	64,285,365 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成25年6月24日付で500,000株の自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該自己株式取得後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の我が国経済は、円安や政府による経済政策の効果等により企業収益に改善が見られる等、全体としては回復基調で推移しました。その一方で、原材料価格の高騰や海外景気の減速等の下振れリスクも抱え、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、創業50周年を迎えた当社は、期初より、これまでの感謝を込めた謝恩活動をフランチャイズ加盟店と一丸となって展開すると共に、“仕組みの改革”を推し進めており、一人でも多くの方に、当社の商品・サービスをご利用いただくべく、中期経営方針の基本方針に沿った取り組みを継続しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、833億10百万円（前年同期比1.5%増）となりました。一方、フードグループが大幅な減益となり営業損失を計上したことで連結営業利益は減少し、43億51百万円（前年同期比8.4%減）となりました。それに伴い、連結経常利益も53億27百万円（前年同期比7.3%減）と減益となりましたが、連結四半期純利益は、前年同期にあった投資有価証券評価損の計上が無くなったことを主因として増益となり、30億59百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

<セグメント毎の状況>

①クリーンケアグループ

清掃関連用具のレンタルや清掃美化関連のサービスを手掛けるクリーン・ケア事業は、家庭市場において、全国各地のショッピングセンター等で、「オタメシ祭り」を多数開催しました。これは、普段ご自宅ではなかなかお会いできない方に対して、お出掛けの場で当社商品を紹介し、実際に触って使って見ていただいて、ホコリの取れ方や使い勝手等を体感していただくという催しで、従来商品より高機能でスタイリッシュなフロアモップ「LaLa」、ハンディモップ「shushu」、集めたゴミやホコリを吸い取る置き型式掃除機「ダストクリーナー」の3点を組み合わせた“お手軽本格おそうじ”を訴求しました。それら3点のレンタル売上は順調に増加したものの、それ以外のモップ商品売上は減少し、家庭用ダストコントロール商品全体では、前年同期並みの売上に留まりました。エアコンクリーニング、台所や洗面所等の水周りクリーニング、家事おてっだいサービス等が順調に推移した家庭向け役務提供サービスと併せた家庭市場合計の売上は、前年同期を上回る結果となりました。

一方、事業所市場は引き続き厳しい状況が続きました。清掃用具レンタルに清掃サービスや害虫駆除、衛生管理サービス等を加えたオーダーメイドの総合提案を繰り返し行う地道な営業活動に引き続き注力しましたが、ダストコントロール商品の売上が減少したことを主因に、前年同期の売上を下回る結果となりました。その中では、害虫駆除サービス等が順調に推移した事業所市場向け役務提供サービスは、前年同期の売上を上回りました。

以上に、介護用品レンタル、イベント受注が依然として好調に推移したレントオール事業及びその他の事業を加えたクリーンケアグループ全体の売上高は550億23百万円（前年同期比1.5%増）となりました。営業利益は、創業50周年謝恩活動により販売促進費用は増加したものの、一部の費用の使用時期が下半期にずれ込んだこと等により、75億12百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

②フードグループ

ミスタードーナツ事業は、ブランド価値の向上を図ることに集中して取り組み、前年同期の売上を上回りました。とりわけ、味・おいしさの追求に注力し、まず4月には、今まで以上に風味を高めるオイル、ドーナツをコーティングするグレーズ（砂糖蜜）を開発・導入し、併せて「オールドファッション」等の人気ドーナツの生地をリニューアルした「TRY! NEW MISDO!」と題したプロモーションを実施しました。9月には、豆の品質・焙煎方法にこだわり、よりおいしくなった「ミストオリジナルローストコーヒー」を発売しました。更に、商品展開においては、6月の「ぷるるんポン・デ・リング」、8月の「マロンドーナツ」等、季節感溢れる商品を継続的に展開しながら、カルピス株式会社との「カルピス®ドーナツ」、ハウス食品株式会社との「家族のカレーパン」等、有名企業とのコラボレーションで話題性を喚起する取り組みも行いました。また9月には、ドーナツの新たな食べ方を提案する商品として、6種の一口サイズドーナツを専用容器に詰め大人数で楽しんでいただく「ミストビッツ」を発売し、大変好評を得ております。

以上に、前期7月より連結を開始した蜂屋乳業株式会社及びその他のフード事業を加えたフードグループ全体の売上高は229億99百万円（前年同期比1.0%増）となりました。一方、営業利益は、小麦等原材料価格高騰の影響に加え、「TRY! NEW MISDO!」による宣伝広告費の増加等により、1億44百万円の営業損失（前年同期は営業利益4億78百万円）となりました。

③その他

海外のミスタードーナツ事業は、タイ、フィリピン、マレーシアは好調に推移したものの、台湾、中国（上海）、韓国は、不採算店をクローズし店舗数が減少したこと等により前年同期の売上を下回った結果、海外のミスタードーナツ事業合計の売上は前年同期から微減しました。

海外のクリーン・ケア事業は、展開している台湾、中国（上海）、韓国の3ヵ国全てで前年同期の売上を上回りました。台湾では、ダストコントロール事業との相乗効果により、役員提供サービスが順調に推移し、また中国（上海）、韓国では、家庭市場のお客様開拓に注力した結果、売上は前年同期を上回りました。

以上に、リース事業等を営むダスキン共益株式会社等の関係会社を加えた、その他全体の売上高は52億86百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は2億9百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

なお、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産残高は、2,018億60百万円となりました。前連結会計年度末（以下「前期末」という）と比較して5億14百万円減少しております。その要因は、投資有価証券が47億64百万円、現金及び預金が20億68百万円増加したことに対し、短期資金運用等の有価証券が61億99百万円、無形固定資産その他が6億55百万円減少したこと等であります。

負債残高は472億19百万円となり、前期末と比較して23億43百万円減少しております。その要因は、未払金が11億37百万円減少したこと等であります。

純資産残高は1,546億40百万円となり、前期末と比較して18億29百万円増加しております。その要因は、四半期純利益30億59百万円と剰余金の配当12億61百万円との差引により利益剰余金が17億97百万円、その他有価証券評価差額金が8億37百万円増加したことに対し、自己株式の取得により9億6百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）通期の業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表した従来の予想を変更しておりません。

【連結】

(単位：百万円、%)

	平成26年3月期（予想）			平成25年3月期（実績）	
		百分比	前期比		百分比
売上高	173,000	100.0	2.9	168,163	100.0
営業利益	6,300	3.6	△31.5	9,197	5.5
経常利益	7,800	4.5	△29.3	11,027	6.6
当期純利益	4,400	2.5	△27.8	6,092	3.6

【単体】

(単位：百万円、%)

	平成26年3月期（予想）			平成25年3月期（実績）	
		百分比	前期比		百分比
売上高	148,000	100.0	1.9	145,275	100.0
営業利益	3,400	2.3	△46.9	6,399	4.4
経常利益	6,400	4.3	△32.3	9,446	6.5
当期純利益	3,900	2.6	△21.9	4,995	3.4

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,255	21,323
受取手形及び売掛金	10,366	10,105
リース投資資産	1,782	1,649
有価証券	13,998	7,799
商品及び製品	6,203	7,322
仕掛品	175	154
原材料及び貯蔵品	2,133	2,124
繰延税金資産	2,609	2,513
その他	2,684	2,798
貸倒引当金	△46	△49
流動資産合計	59,162	55,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,138	41,300
減価償却累計額	△24,262	△23,804
建物及び構築物(純額)	17,876	17,495
機械装置及び運搬具	23,624	23,519
減価償却累計額	△17,247	△17,262
機械装置及び運搬具(純額)	6,376	6,256
土地	24,231	24,198
建設仮勘定	279	981
その他	13,683	13,099
減価償却累計額	△9,328	△9,319
その他(純額)	4,355	3,780
有形固定資産合計	53,120	52,712
無形固定資産		
のれん	688	666
その他	7,788	7,133
無形固定資産合計	8,477	7,799
投資その他の資産		
投資有価証券	67,684	72,448
長期貸付金	108	27
繰延税金資産	5,147	4,737
差入保証金	7,498	7,369
その他	1,385	1,232
貸倒引当金	△209	△210
投資その他の資産合計	81,614	85,604
固定資産合計	143,212	146,117
資産合計	202,375	201,860

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,975	6,588
1年内返済予定の長期借入金	99	99
未払法人税等	2,066	1,911
賞与引当金	3,362	3,065
ポイント引当金	1,292	1,212
資産除去債務	2	9
未払金	6,229	5,091
レンタル品預り保証金	10,326	10,275
その他	4,443	3,779
流動負債合計	34,798	32,034
固定負債		
長期借入金	89	38
退職給付引当金	13,284	13,782
債務保証損失引当金	11	3
資産除去債務	592	582
長期預り保証金	748	741
長期未払金	37	37
その他	0	0
固定負債合計	14,764	15,185
負債合計	49,563	47,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,352	11,352
資本剰余金	10,841	10,841
利益剰余金	132,222	134,019
自己株式	△3,092	△3,999
株主資本合計	151,323	152,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	943	1,780
繰延ヘッジ損益	△3	—
為替換算調整勘定	△371	△314
その他の包括利益累計額合計	568	1,466
少数株主持分	919	959
純資産合計	152,811	154,640
負債純資産合計	202,375	201,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	82,088	83,310
売上原価	45,926	46,874
売上総利益	36,162	36,436
販売費及び一般管理費	31,411	32,084
営業利益	4,751	4,351
営業外収益		
受取利息	470	487
受取配当金	142	136
設備賃貸料	58	58
受取手数料	146	128
営業権譲渡益	131	11
雑収入	253	312
営業外収益合計	1,202	1,136
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	34	—
持分法による投資損失	31	63
支払補償費	46	47
賃貸借契約解約損	24	0
雑損失	66	46
営業外費用合計	206	160
経常利益	5,746	5,327
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却及び償還益	939	—
その他	8	2
特別利益合計	948	3
特別損失		
固定資産売却損	3	2
固定資産廃棄損	67	28
減損損失	67	64
投資有価証券評価損	1,030	—
その他	9	3
特別損失合計	1,178	97
税金等調整前四半期純利益	5,517	5,233
法人税等	2,515	2,139
少数株主損益調整前四半期純利益	3,002	3,093
少数株主利益	34	34
四半期純利益	2,967	3,059

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,002	3,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△375	834
繰延ヘッジ損益	△9	△0
為替換算調整勘定	19	53
持分法適用会社に対する持分相当額	12	32
その他の包括利益合計	△352	919
四半期包括利益	2,649	4,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,607	3,957
少数株主に係る四半期包括利益	42	56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	クリーンケア グループ	フード グループ	その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高						
外部顧客への売上高	54,194	22,769	5,124	82,088	—	82,088
セグメント間の内部売上高 又は振替高	482	7	1,213	1,702	△1,702	—
計	54,677	22,776	6,337	83,791	△1,702	82,088
セグメント利益	7,317	478	216	8,012	△3,261	4,751

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、病院のマネジメントサービス、事務用機器及び車両のリース、保険代理業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,261百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△3,253百万円が含まれております。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「フードグループ」セグメントにおいて、平成24年5月に蜂屋乳業株式会社を子会社化したことに伴い、当第2四半期連結累計期間では404百万円のものれんが発生しております。

なお、のれんの当第2四半期連結累計期間の償却額及び当第2四半期連結会計期間末の残高は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	クリーンケア グループ	フード グループ	その他	全社・消去	合計
当第2四半期連結累計期間償却額	54	20	—	—	75
当第2四半期連結会計期間末残高(注)	176	384	—	—	560

(注) 当第2四半期連結会計期間末残高の主な内容は、平成24年5月に取得した蜂屋乳業株式会社ののれん残高384百万円(フードグループ)、平成20年7月に取得した株式会社アミ・コーポレーション(現在は株式会社ダスキンサーヴ東北と統合)のものれん残高46百万円(クリーンケアグループ)と当社及び連結子会社が複数の加盟店から事業譲受した際に発生したものれん残高101百万円(クリーンケアグループ)等であります。

(重要な負のものれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	クリーンケア グループ	フード グループ	その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高						
外部顧客への売上高	55,023	22,999	5,286	83,310	—	83,310
セグメント間の内部売上高 又は振替高	480	4	1,355	1,840	△1,840	—
計	55,503	23,004	6,642	85,150	△1,840	83,310
セグメント利益又は損失(△)	7,512	△144	209	7,578	△3,227	4,351

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務用機器及び車両のリース、保険代理業、病院のマネジメントサービス及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,227百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△3,227百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な影響を及ぼす事象はありません。

なお、のれんの当第2四半期連結累計期間の償却額及び当第2四半期連結会計期間末の残高は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	クリーンケア グループ	フード グループ	その他	全社・消去	合計
当第2四半期連結累計期間償却額	74	41	—	—	115
当第2四半期連結会計期間末残高(注)	354	311	—	—	666

(注) 当第2四半期連結会計期間末残高の主な内容は、当社及び連結子会社が複数の加盟店から事業譲受した際に発生したのれん残高340百万円(クリーンケアグループ)と平成24年5月に取得した蜂屋乳業株式会社ののれん残高303百万円(フードグループ)等であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。